

# 使用するツールのインストール

本講座では以下の 3 つを利用します。

MAMP

Visual Studio Code

Google Chrome

お使いの PC にインストールされていない方はインストールをして頂きますようお願いいたします。

なお、お使いの PC に既に PHP 環境や Apache 環境が構築済みの場合、MAMP の起動時に問題が生じることがあります。既に構築されている PHP 環境及び Apache 環境は停止してから MAMP を起動するようにしてください。

---

Visual Studio Code をインストールされていない場合は以下の手順に従い、お使いの PC にインストールを行ってください。また、Visual Studio Code は拡張機能を入れることによって、使い勝手や機能の向上を図ることができるようになっています。本講座でも拡張機能で提供されている機能を利用するため、いくつかの拡張機能のインストールもお願いします。

MAMP のインストールおよびバージョン確認などは、後半をご覧ください。

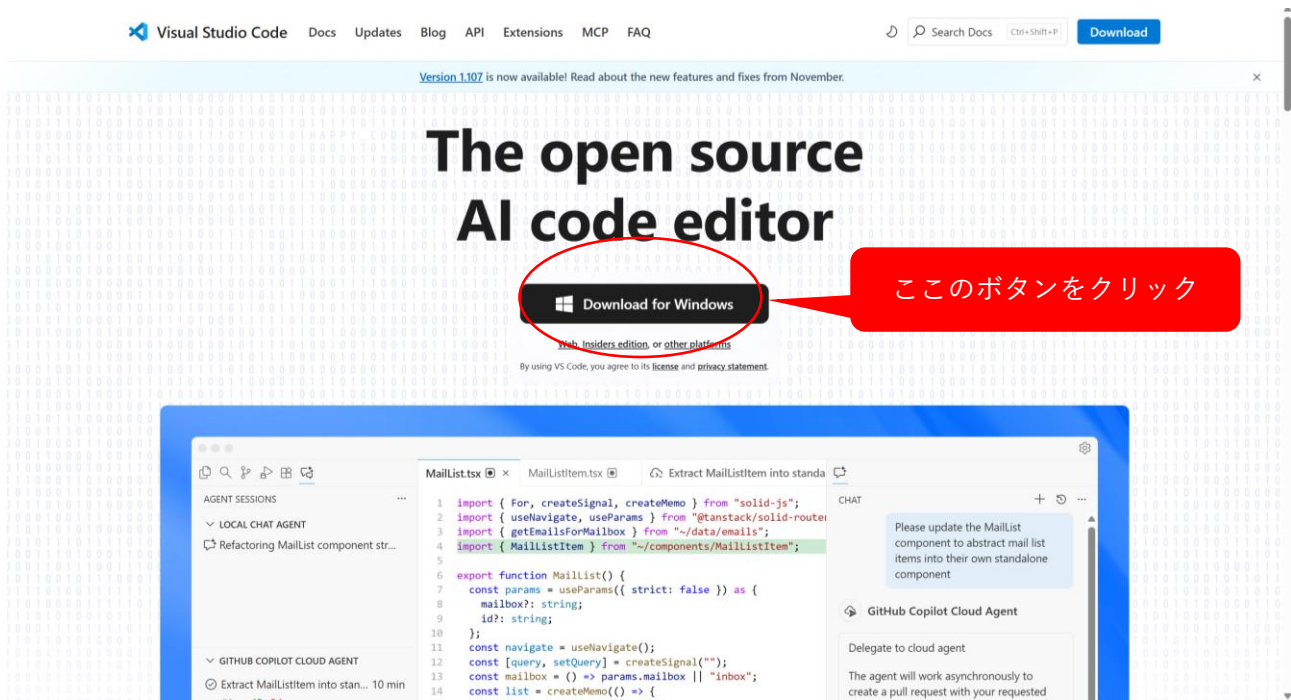
なお、本講座で利用するツールは、全て無料で利用できます。

## 1. Visual Studio Code のインストール

### 1-1. Visual Studio Code のダウンロード

[Visual Studio Code - Code Editing. Redefined \(https://code.visualstudio.com/\)](https://code.visualstudio.com/)

にアクセスします。

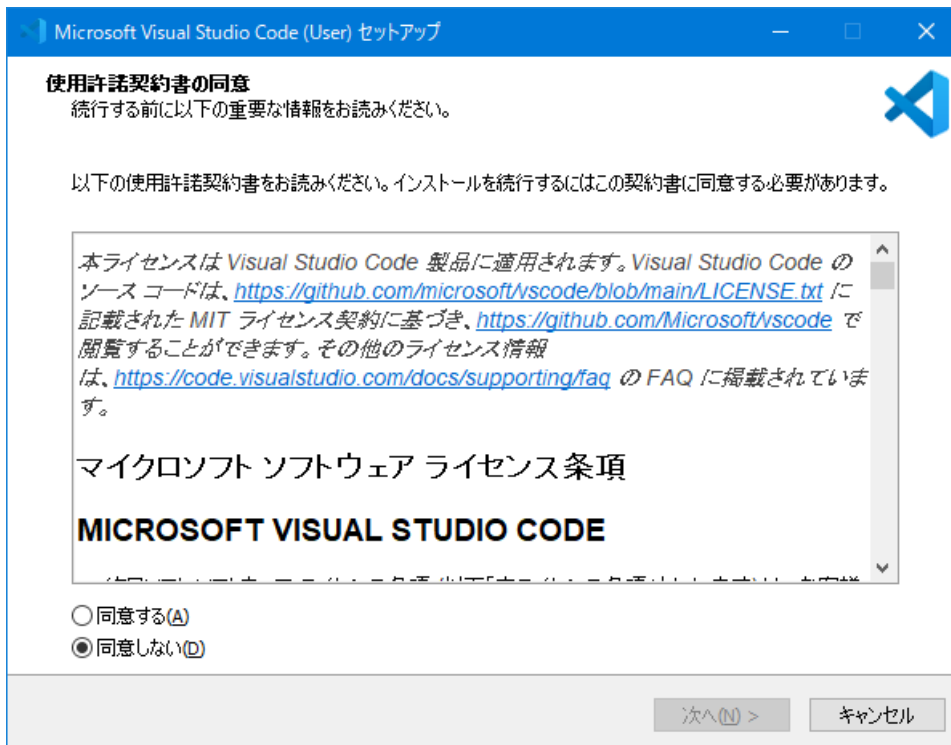


利用している OS に応じてダウンロードすべきボタンが変化しますが、もし自動的に変化するボタンがお使いの OS と異なる場合はプルダウンから切り替えてください。  
バージョンは最新版を利用してください。

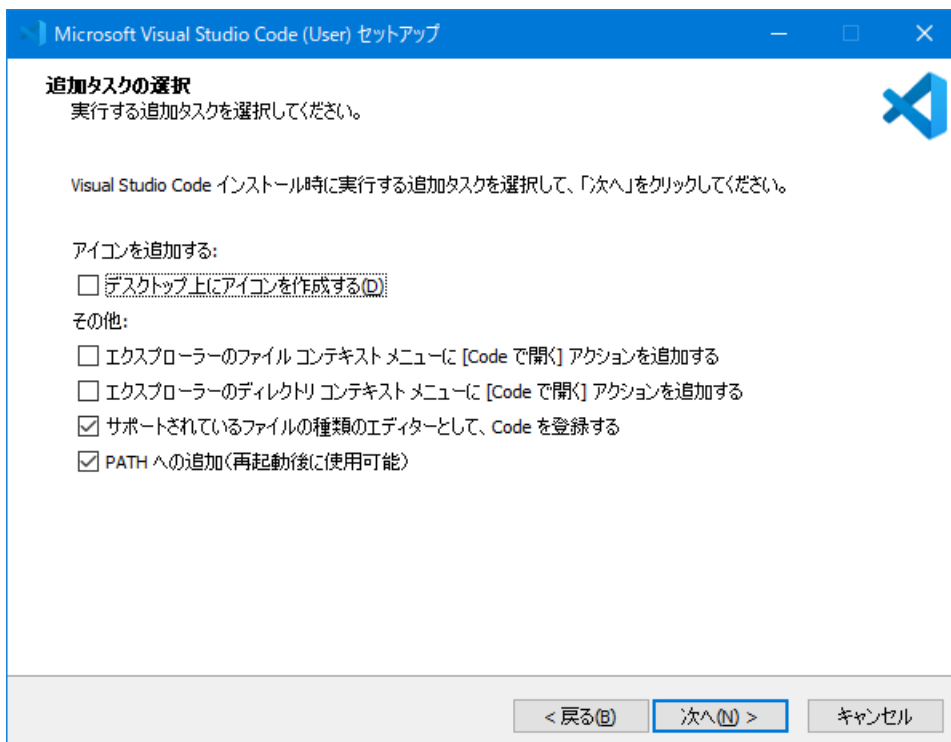
インストール方法は Windows 環境と mac 環境で異なります。お使いの環境に合わせた方を確認してください。

## 1-2. ダウンロード完了後のインストール（Windows 環境）

ブラウザーでダウンロードが終わったらダウンロードされたファイルをダブルクリックしてインストールを行います。

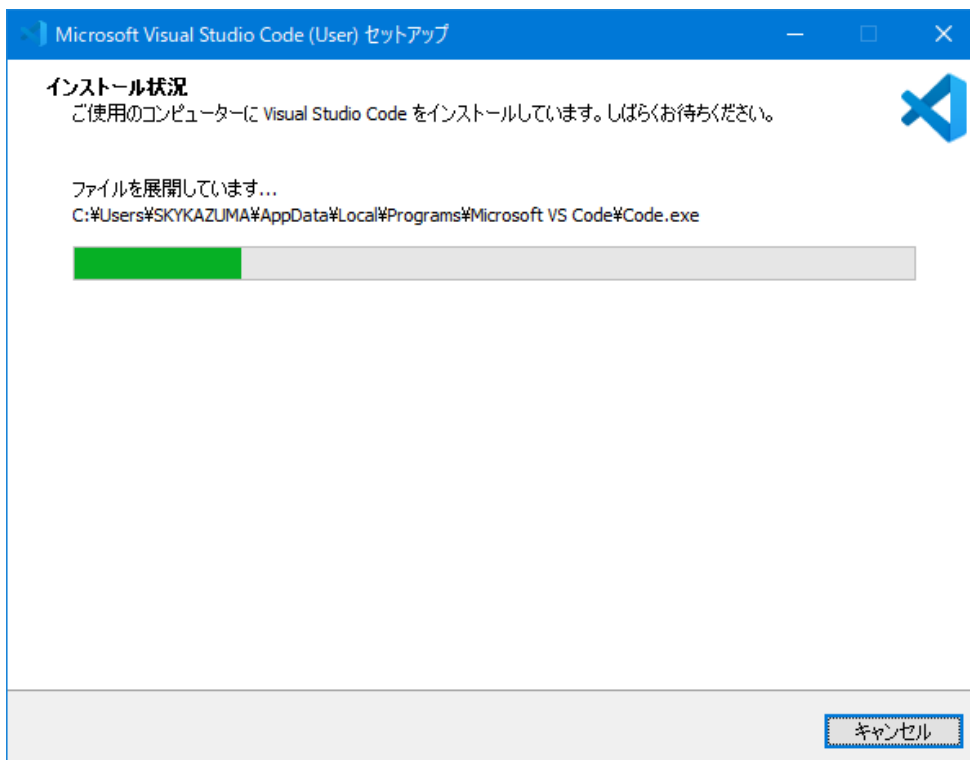


ライセンスへの同意が必要なため、読んだ上で「同意する」にチェックを入れて「次へ」

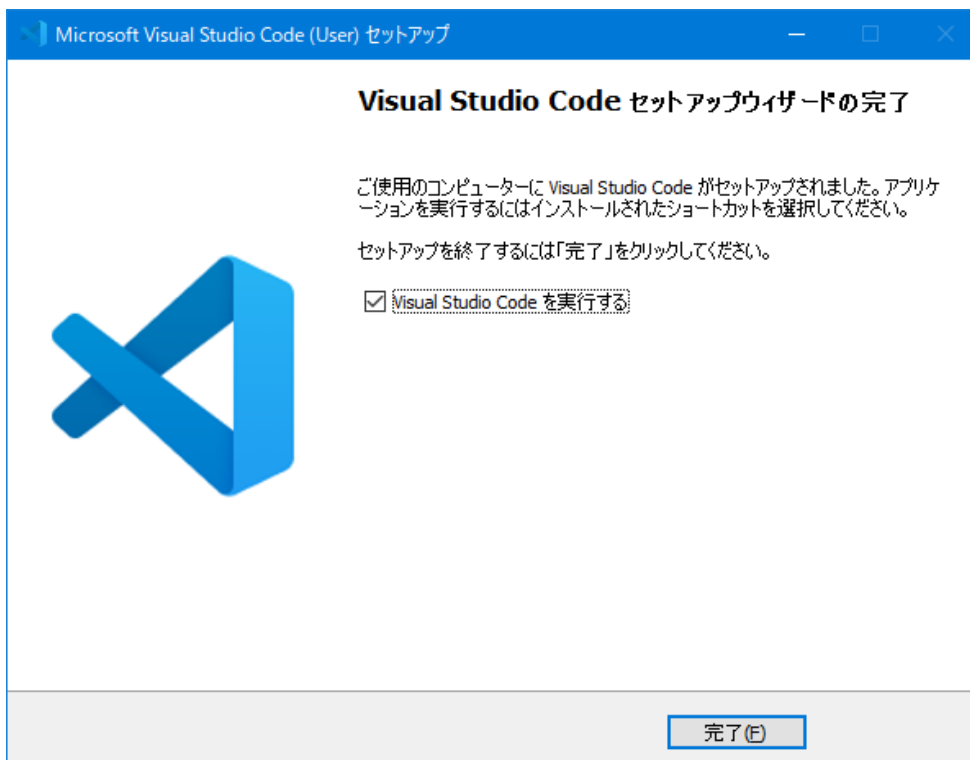


途中で「追加タスクの選択」が表示されます。

デフォルトのままで問題ありませんが、必要に応じてチェックを付ける、外すなどしてください。



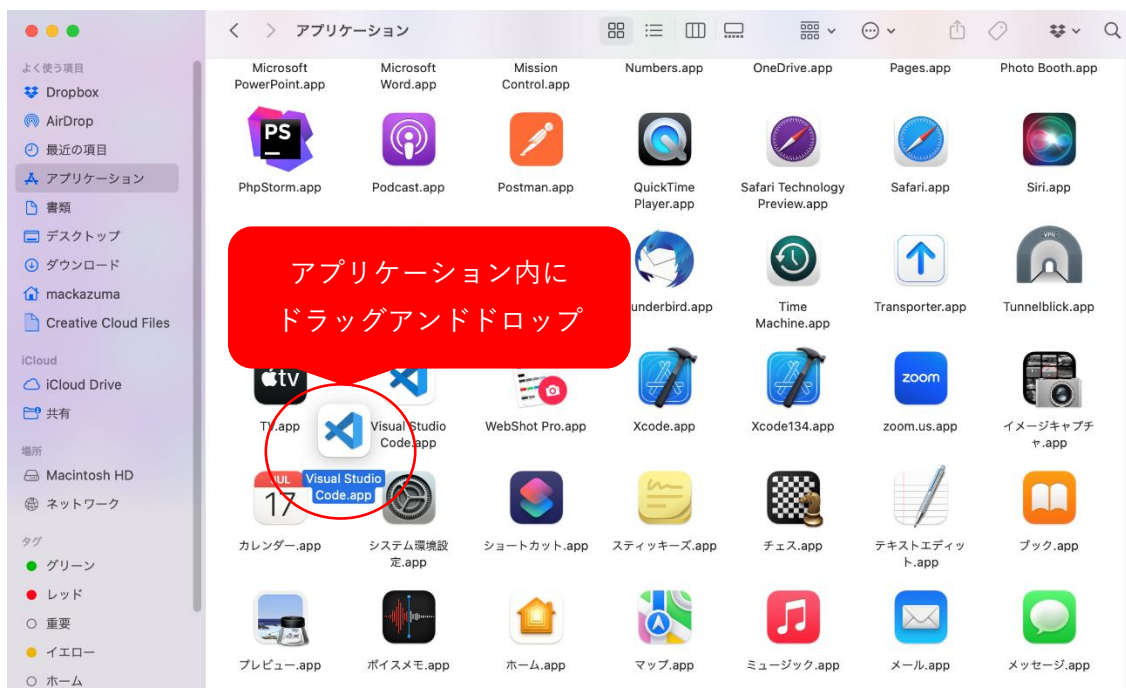
後は通常通りインストールが進みます。



インストールが完了したら、この画面が表示されます。

「Visual Studio Code を実行する」にチェックが入っていますが、そのままチェックを入れておいて「完了」を押せば、Visual Studio Code が起動します。

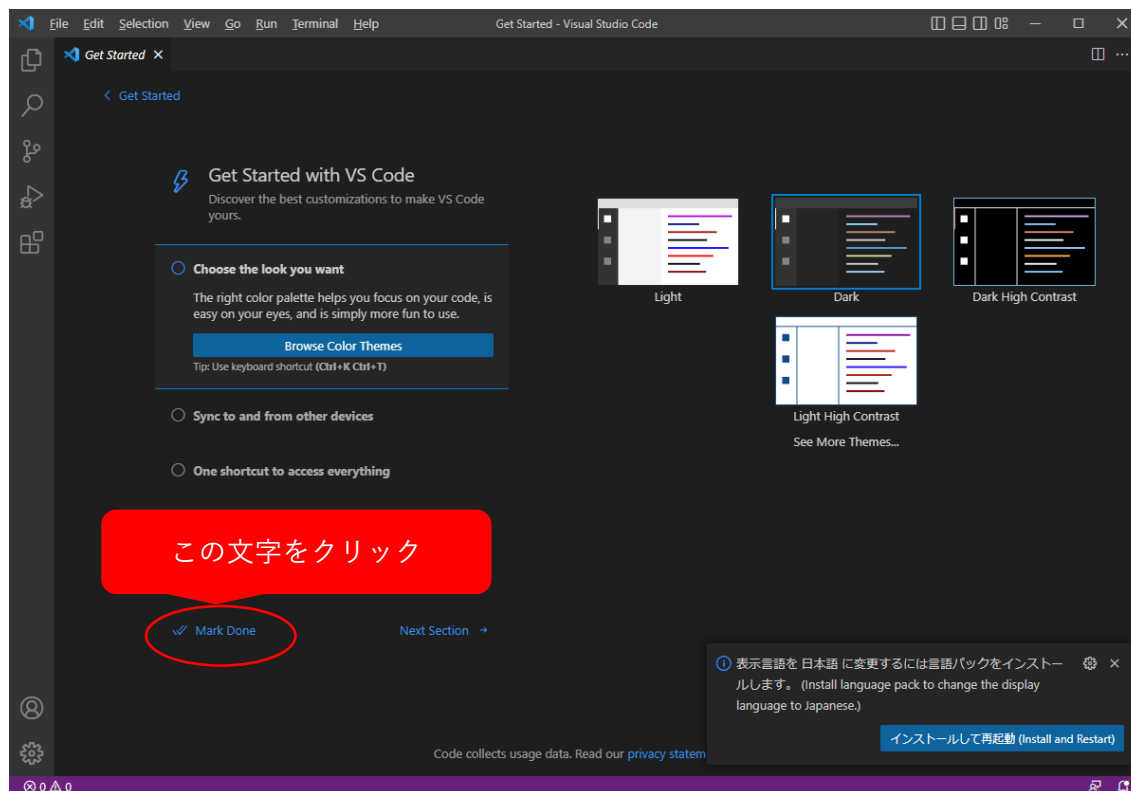
## 1-2. ダウンロード完了後のインストール（mac 環境）



「ダウンロード」フォルダーに「Visual Studio Code」が展開されていたら、「Finder」→「アプリケーション」も表示し、その中にドラッグアンドドロップします。ファイルがコピーされたらインストール完了です。「Visual Studio Code」をダブルクリックして起動します。

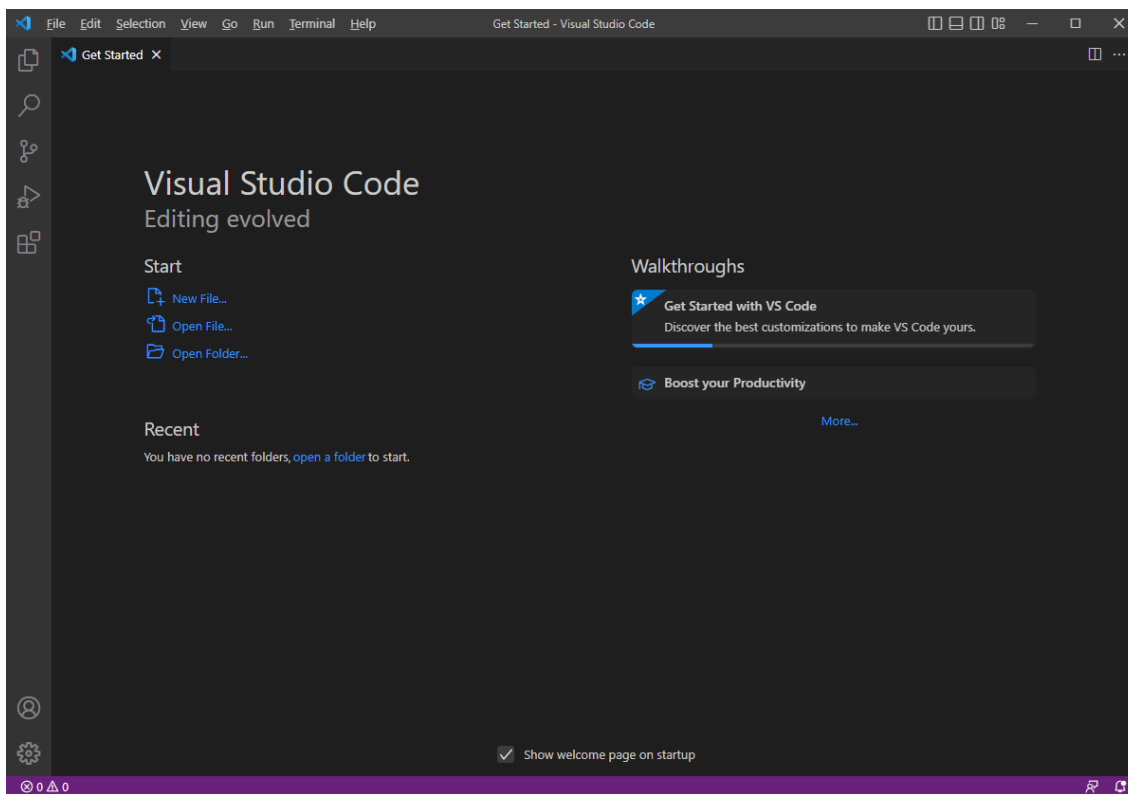
## 1-3. Visual Studio Code 自体の設定

起動直後の画面では設定を行います。画面の表示スタイルの選択をします。



デフォルトでは Dark が選択されていますが、見やすいものを選択すると良いでしょう。また、標準で搭載されている見た目以外にも拡張機能で見た目はさまざま提供されているため、自分にあっているものを探して利用しても良いでしょう。

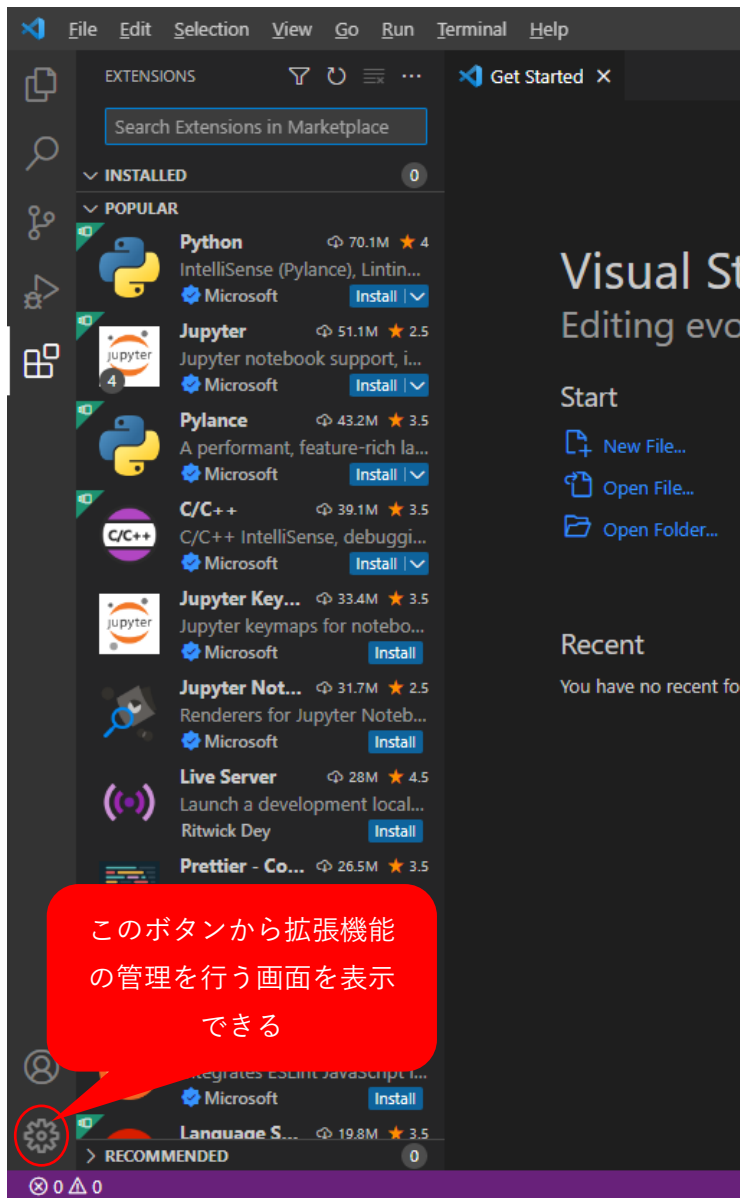
後はデフォルト設定のまま利用することにします。「Mark Done」という文字をクリックします。必要に応じて後から設定変更は可能です。フォントを変えたり、文字サイズを変えたり自分の使いやすいように設定は変えてみてください。(日本語化したあと)「ファイル」→「ユーザー設定」→「設定」(macの場合「Code」→「基本設定」)から変更できます。



この画面が表示されれば設定は完了しています。

## 1-4. 日本語化と拡張機能のインストール

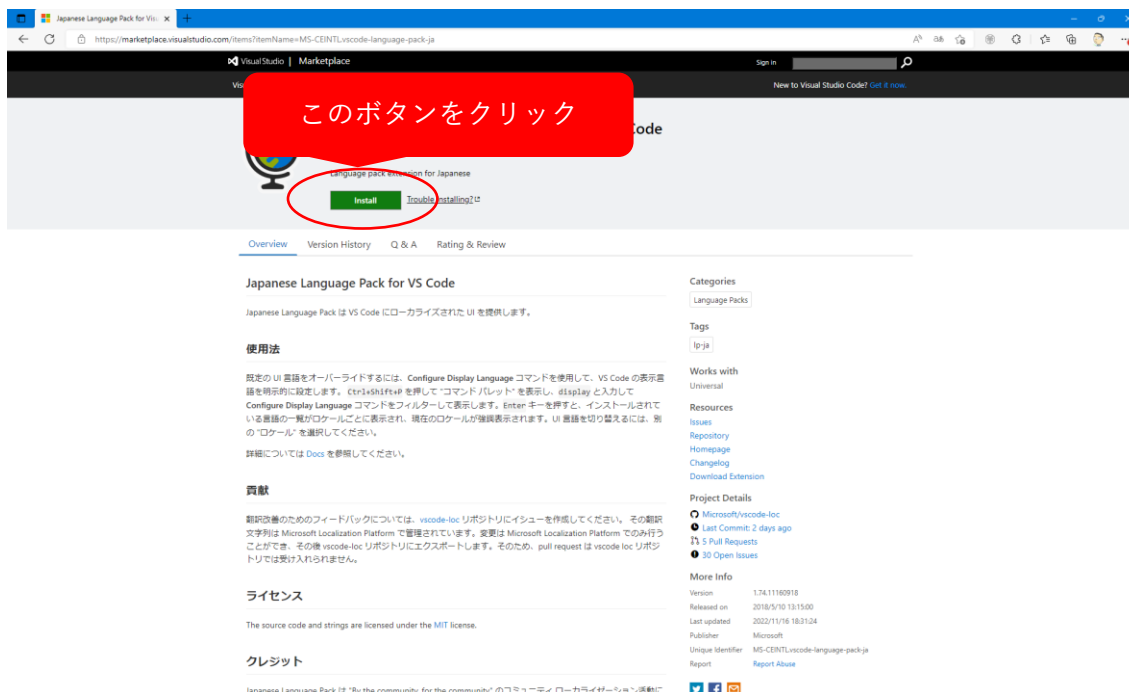
まだこの段階では英語表記のままになっています。このままでももちろん通常通り利用できますが、日本語の方が使いやすい場面も多いでしょう。日本語の言語拡張機能を入れることで、日本語化することができます。拡張機能は画面左下にあるボタンから管理をしますが、今回はブラウザー経由で拡張機能をインストールします。



ブラウザーで以下の URL を開きます。

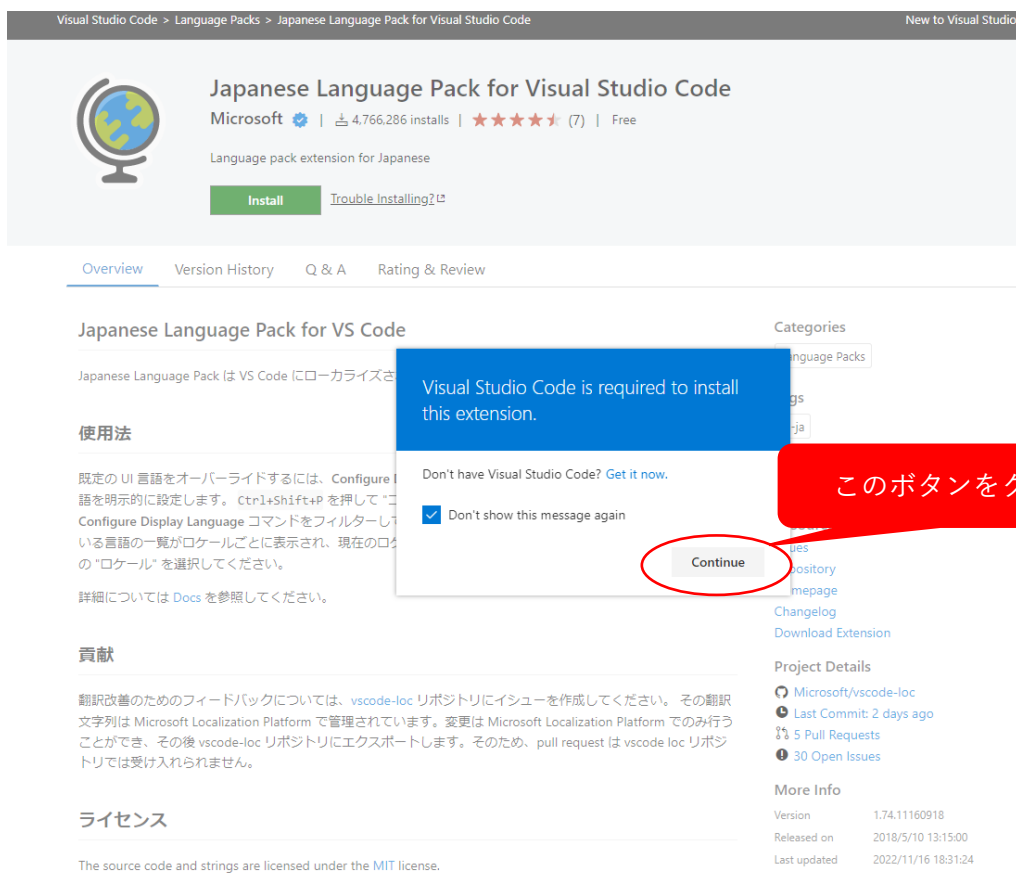
<https://marketplace.visualstudio.com/items?itemName=MS-CEINTL.vscode-language-pack-ja>





Japanese Language Pack for Visual Studio Code という拡張機能について説明されているページが表示されます。この画面から拡張機能のインストールが可能です。

上部にある、「Install」ボタンを押します。



インストールしても良いか尋ねるダイアログが表示されるので、「Continue」をクリックします。



## Japanese Language Pack for VS Code

Japanese Language Pack は VS Code にローカライズされた UI を提供します。

### 使用法

既定の UI 言語をオーバーライドするには、**Configure Display Language** コマンドを使用して、VS Code の表示言語を明示的に設定します。Ctrl+Shift+P を押して "コマンド パレット" を表示し、display と入力して **Configure Display Language** コマンドをフィルターして表示します。Enter キーを押すと、インストールされて

### Categories

Language Packs

### Tags

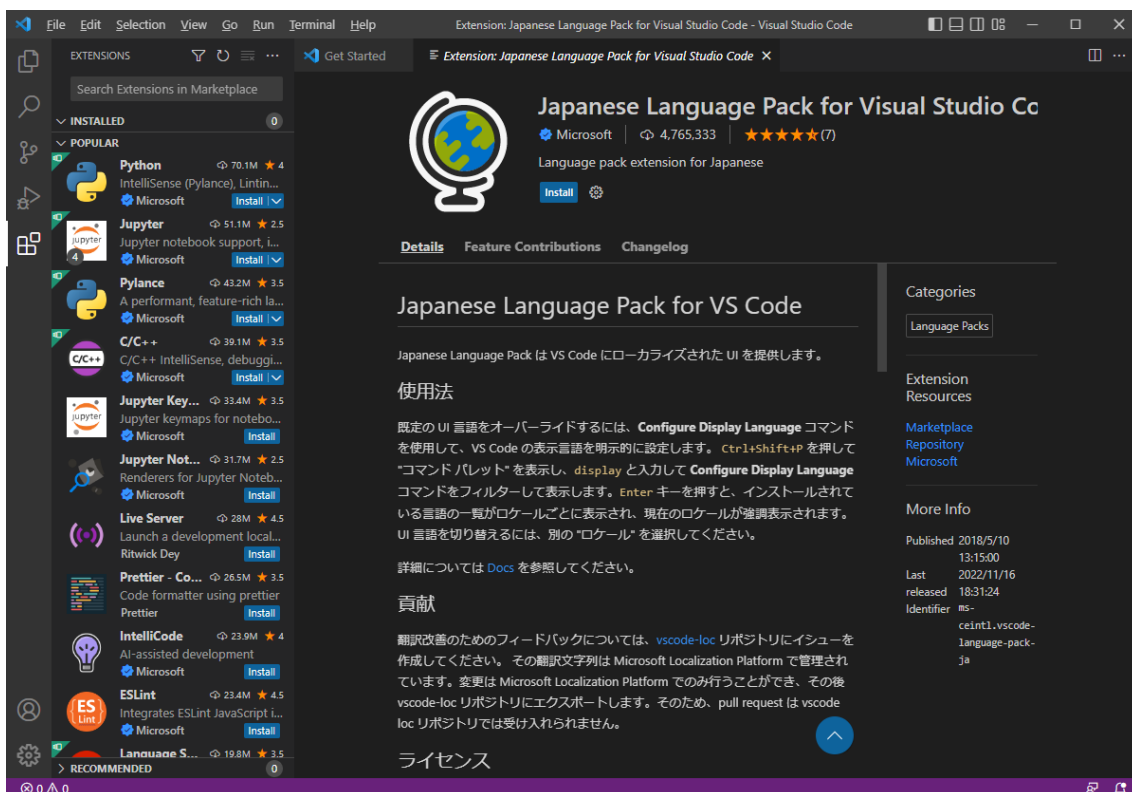
lp-ja

### Works with

Universal

### Resources

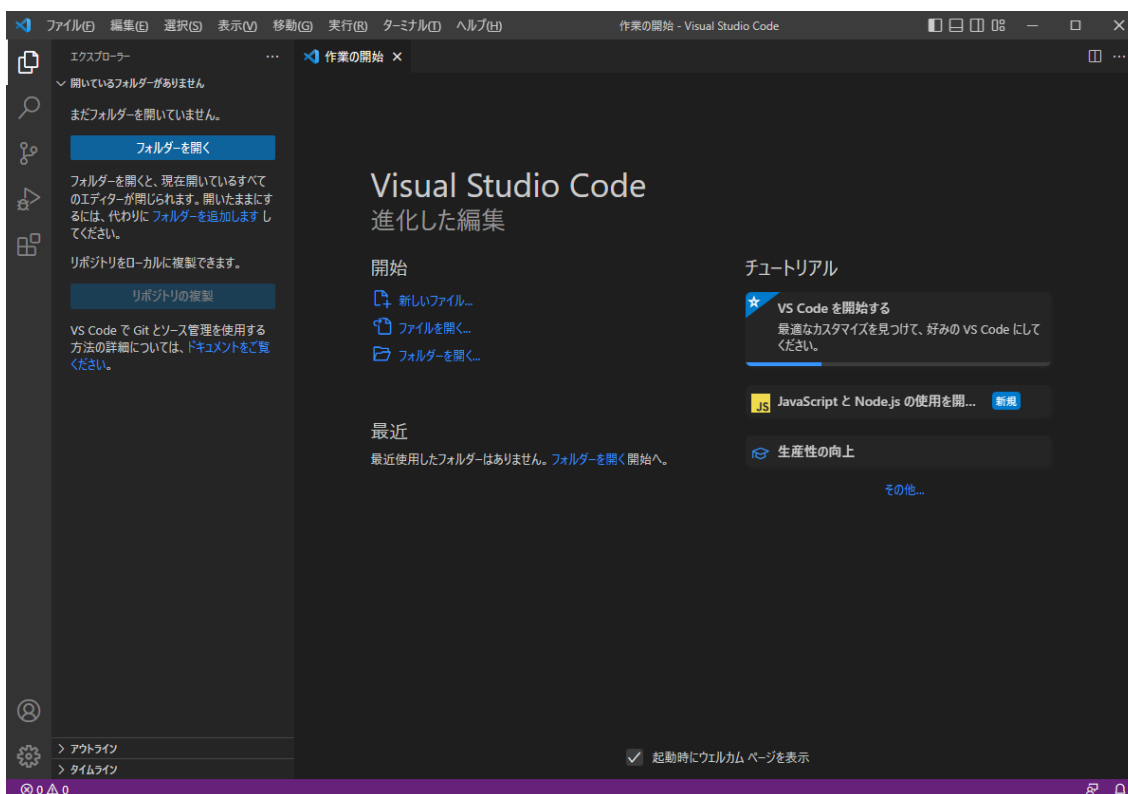
ブラウザから Visual Studio Code を起動して良いか尋ねるアラートが出るので、「開く」（Safari など mac 環境では「許可」）を選択すると、



Visual Studio Code の画面が開いて、拡張機能のインストールが始まります。



インストールが終わると、サイドメニューの「INSTALLED」に追加されます。また、画面では「Uninstall」ボタンが表示されます。拡張機能はアンインストールも比較的容易です。（日本語化済みだと）「インストール済み」にインストールされた拡張機能が一覧で表示されます。クリックすると右側画面にその詳細が表示され、上部に（日本語化済みだと）「アンインストール」ボタンがあるので、それをクリックすればアンインストールされます。



日本語化拡張機能は Visual Studio Code を再起動しないと反映されないタイプの拡張機能です。拡張機能によっては、インストールすれば直ぐ使えるものと再起動しないと使えないものがあります。画面上に表示されるので、指示に従い再起動すると、日本語化された画面が表示されます。

後は同様の方法で、拡張機能をインストールしていきます。特に順番は関係無いので、飛ばしてしまっ

でも後からインストールすれば問題ありません。

Emmet Live

<https://marketplace.visualstudio.com/items?itemName=ysemeniuk.emmet-live>

Path Intellisense

<https://marketplace.visualstudio.com/items?itemName=christian-kohler.path-intellisense>

PHP Intelephense

<https://marketplace.visualstudio.com/items?itemName=bmewburn.vscode-intelephense-client>

indent-rainbow

<https://marketplace.visualstudio.com/items?itemName=oderwat.indent-rainbow>

ブラウザからインストールする以外にも拡張機能パネルの上部にインストールしたい拡張機能名を記述して検索すれば下部に表示され、インストールを行うことができます。

また、(日本語化済みでは)「推奨」には、オススメの拡張機能が表示されますが、本講座では使用しません。

Visual Studio Code はアップデートが盛んなソフトウェアで、ほぼ毎月アップデートが行われています。拡張機能も時折アップデートされます。通常は起動時に自動的にアップデートされますが、手動でアップデートしたい場合は、「ヘルプ」(mac では「Code」) から更新できます。

## 2.MAMP のインストール

### 2-1.環境の確認（Windows）

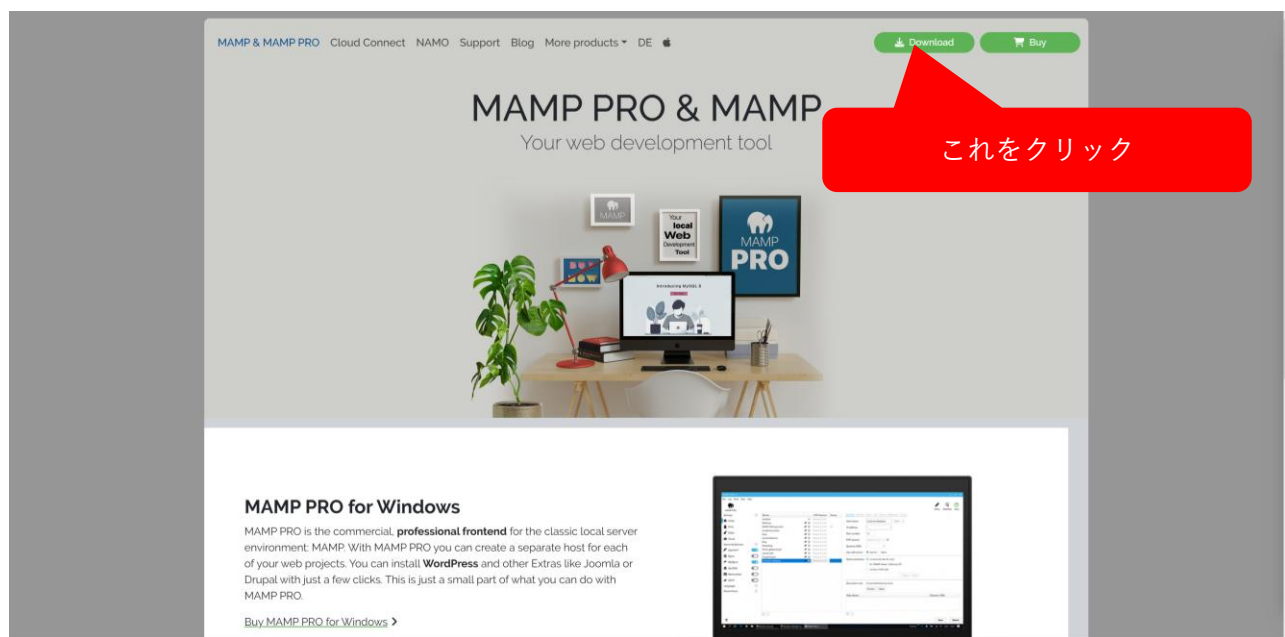
既に利用しているマシンに PHP 環境が構築されている場合、MAMP をインストールするとバッティングしてしまうことがあるため、事前にインストールされていないかどうか確認します。

Windows 環境の場合、XAMPP や Local、WAMPSEVER などのアプリがインストールされている場合、MAMP と同様のアプリがインストールされています。それらのアプリはこの講座を受講しているときは、起動しないようにしてください（起動していると、MAMP の起動に失敗したり、正常に表示がされないなどの問題が生じます。）

### 2-2.MAMP のインストール（Windows）

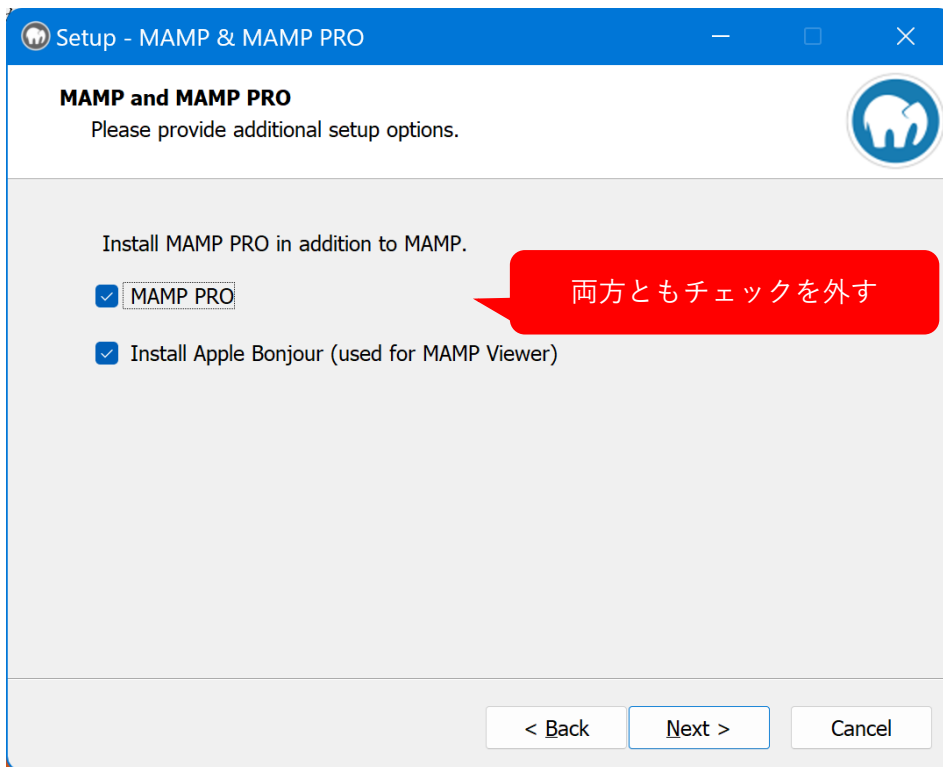
MAMP をダウンロードします。MAMP は PHP、Apache、MySQL などのソフトウェアをインストールして管理するためのツールを提供してくれるソフトです。Pro 版は有料ですが、今回は Pro 版で利用するような機能は使わないため、無料の機能のみ利用します。

<https://www.mamp.info/en/windows/>



「Download」ボタンをクリックして、ダウンロードします。

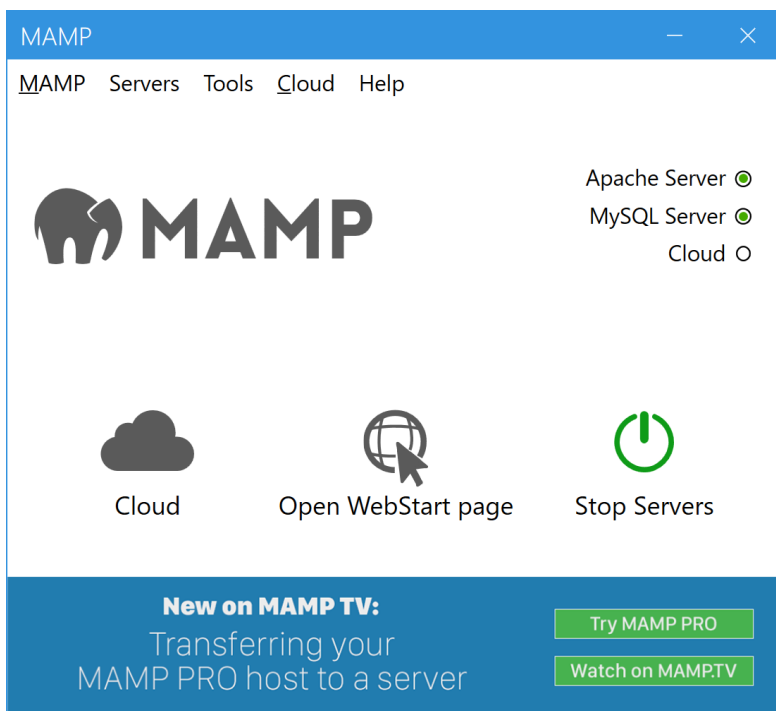
ダウンロードが終わったらダブルクリックして、インストールを行います。途中で表示されるオプションは両方ともチェックを外します。



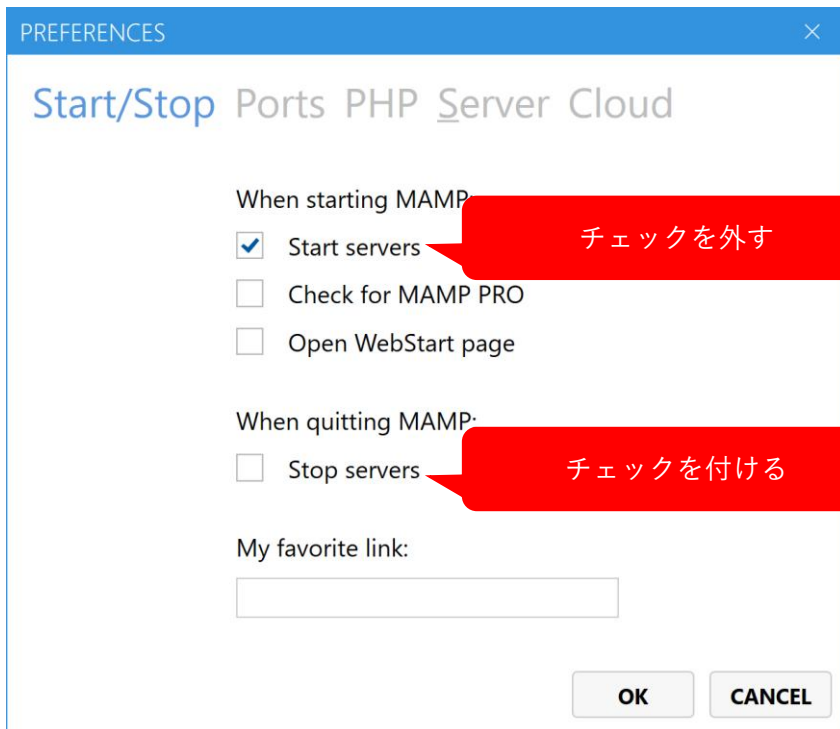
あとは普通にインストールします。

## 2-3.MAMP の設定 (Windows)

インストールが終わったら MAMP を起動します。

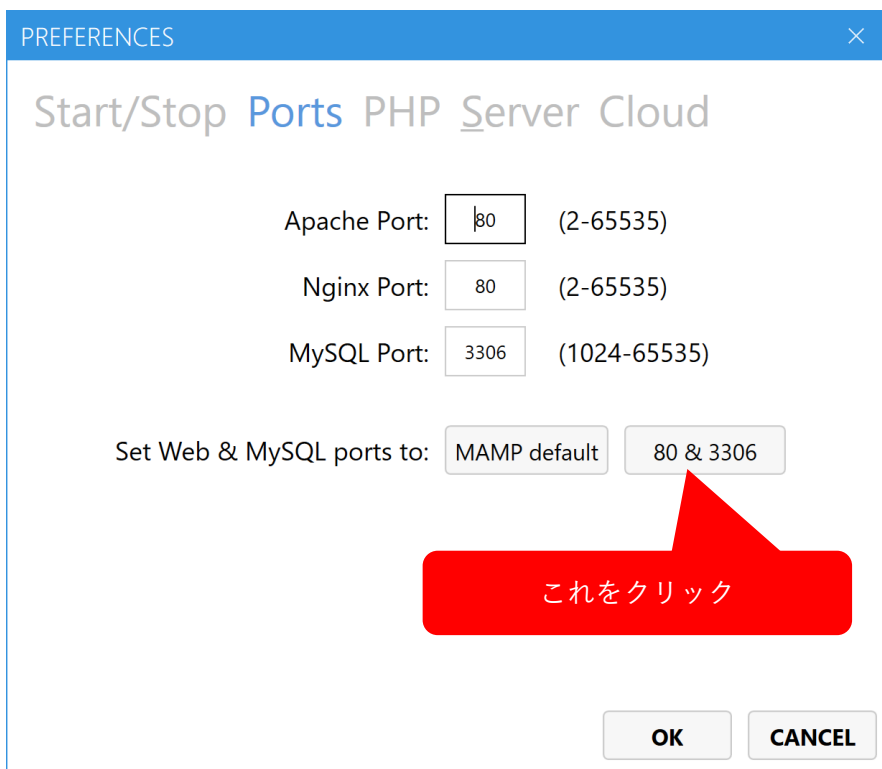


「MAMP」メニューをクリックし、「Preference」をクリックします。



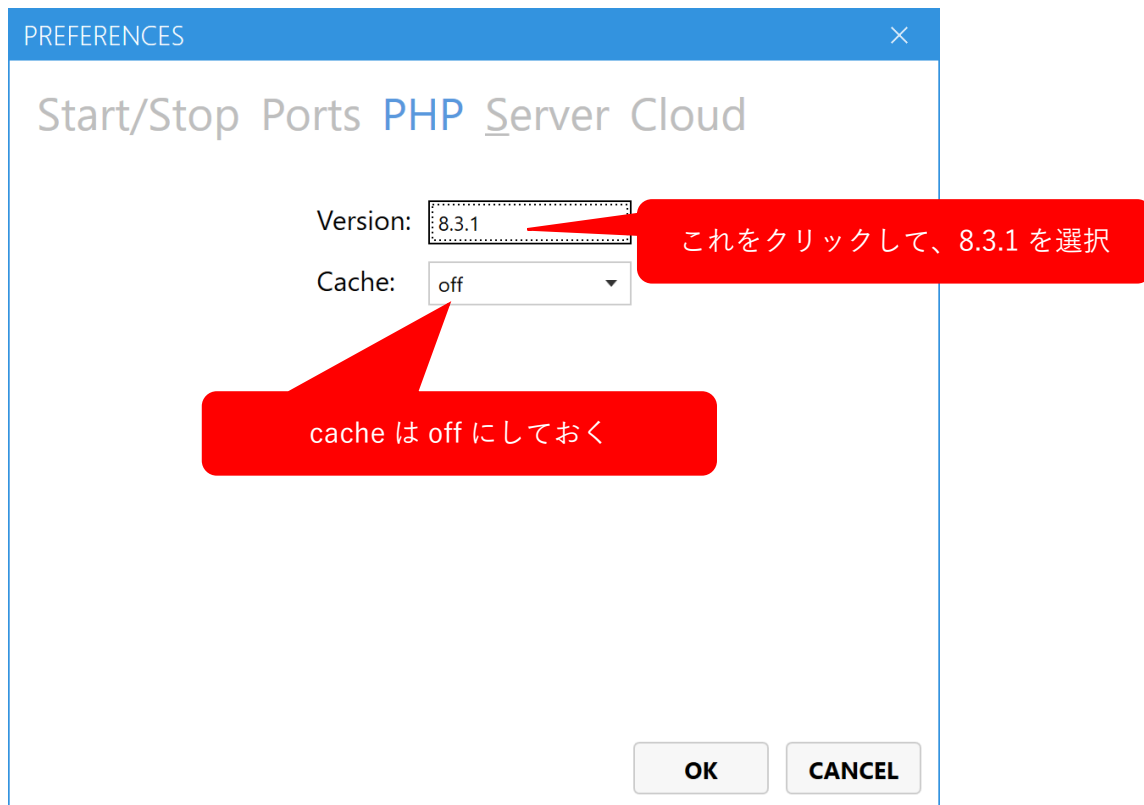
「Start servers」のチェックを外し、「Stop servers」にチェックします。

「Ports」の文字をクリックし、ポート設定をします。



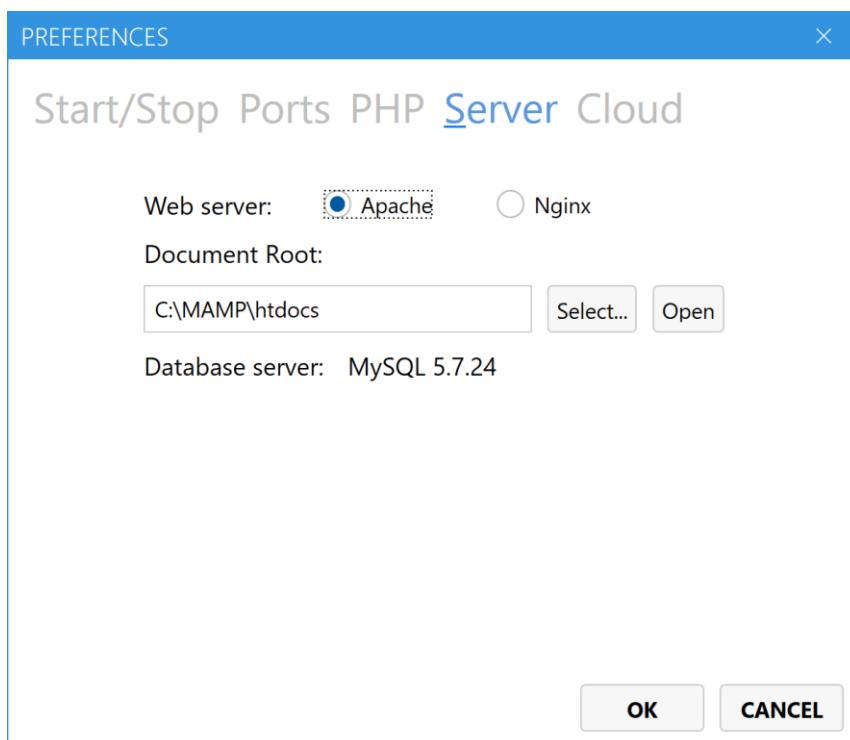
「80&3306」をクリックします。すると、Apache Port などが80になります。

「PHP」の文字をクリックして、



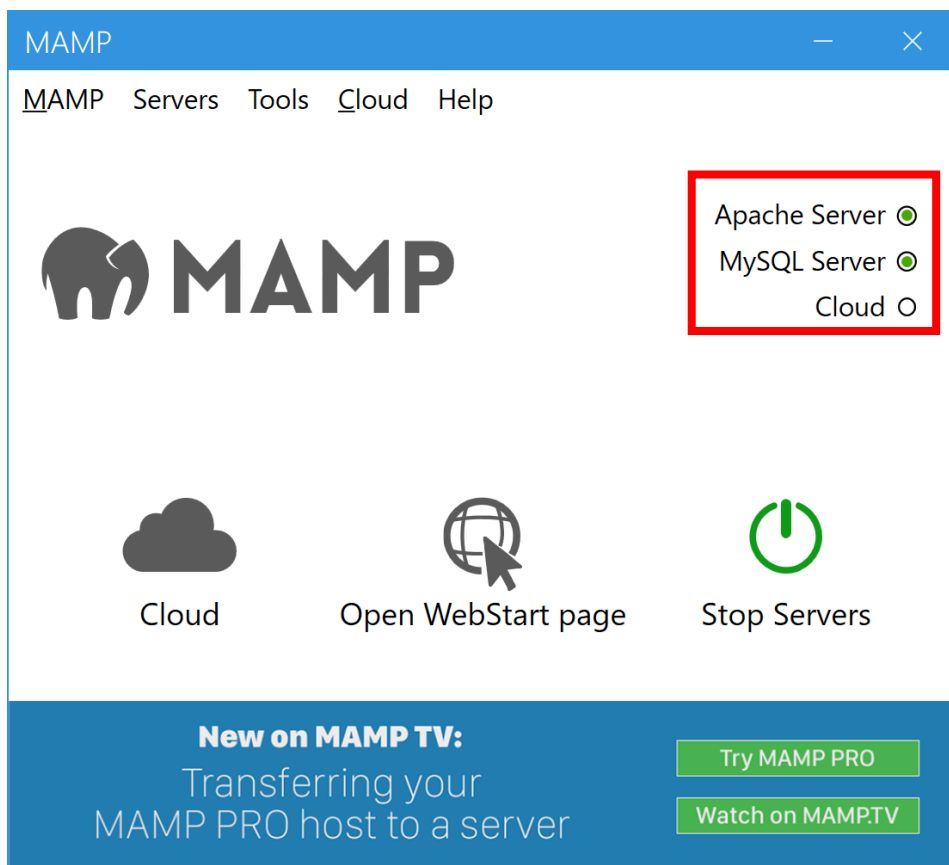
デフォルトで選択されていますが、もし違うようなら「Version」のプルダウンを選択し、「8.3.1」を選択します。

「Server」の文字をクリックして、





同じ設定になっていることを確認します。問題が無ければ、OK ボタンを押しておきます。



Apache Server と MySQL Server の横に緑色の●が点けば完了です。

ここで緑色が点かなかったら、他のアプリが起動していないか確認してください。もし、「Start Servers」が押せる状態になっていたら再度クリックしてみてください。繰り返しても起動しない場合、何らかの問題が生じている可能性があります。C:\MAMP\logs 内にログが格納されています。ここに格納されている内容を確認し、問題を解消してください（apache\_error.log、php\_error.log または mysql\_error\_log.err を確認すると良いはずです）。

ここまで完了したら終了させておきましょう。「Stop Servers」を押して、Apache Server と MySQL Server の横の緑色が消えれば停止されています（終了するまで環境によっては少し時間が掛かることがあります）。X ボタンなどで MAMP を終了させてください。

## 2-1.環境の確認（mac）

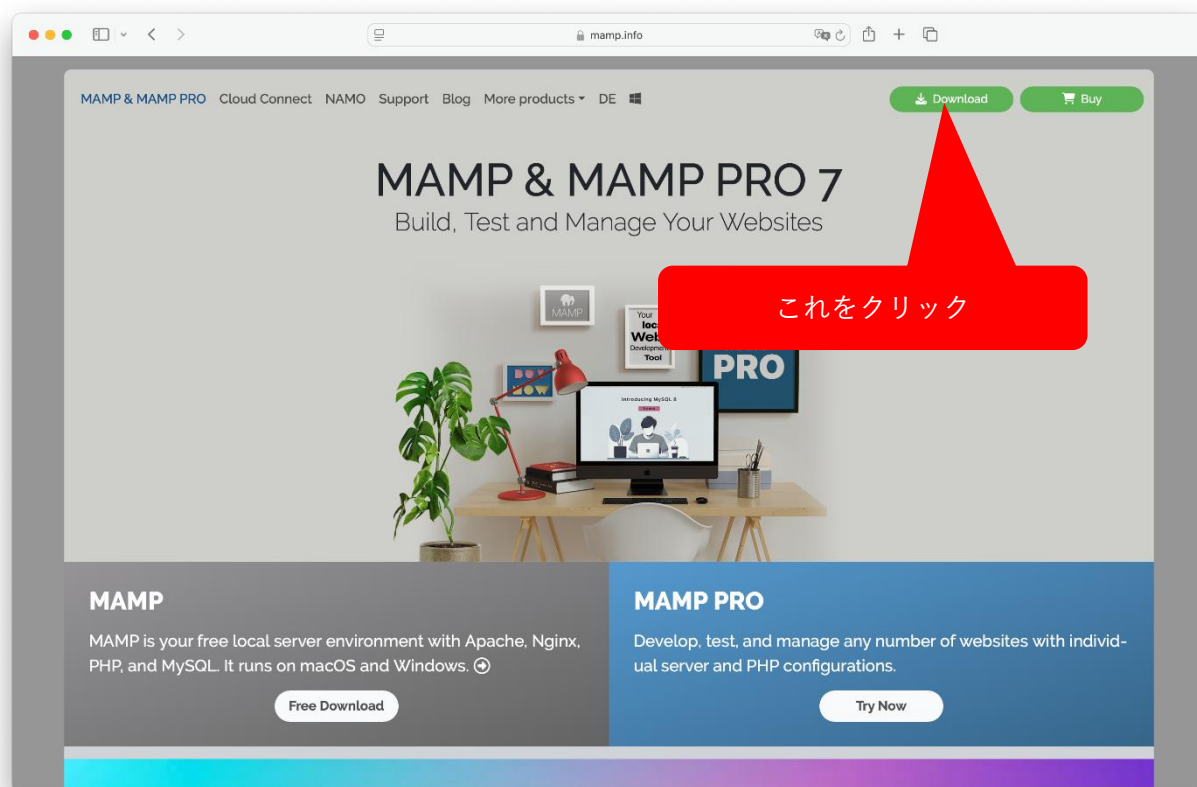
既に利用しているマシンに PHP 環境が構築されている場合、MAMP をインストールするとバッティングしてしまうことがあるため、事前にインストールされていないかどうか確認します。

mac 環境の場合、Local などのアプリがインストールされている場合、MAMP と同様のアプリがインストールされています。それらのアプリはこの講座を受講しているときは、起動しないようにしてください（起動していると、MAMP の起動に失敗したり、正常に表示がされないなどの問題が生じます。）

## 2-2.MAMP のインストール（mac）

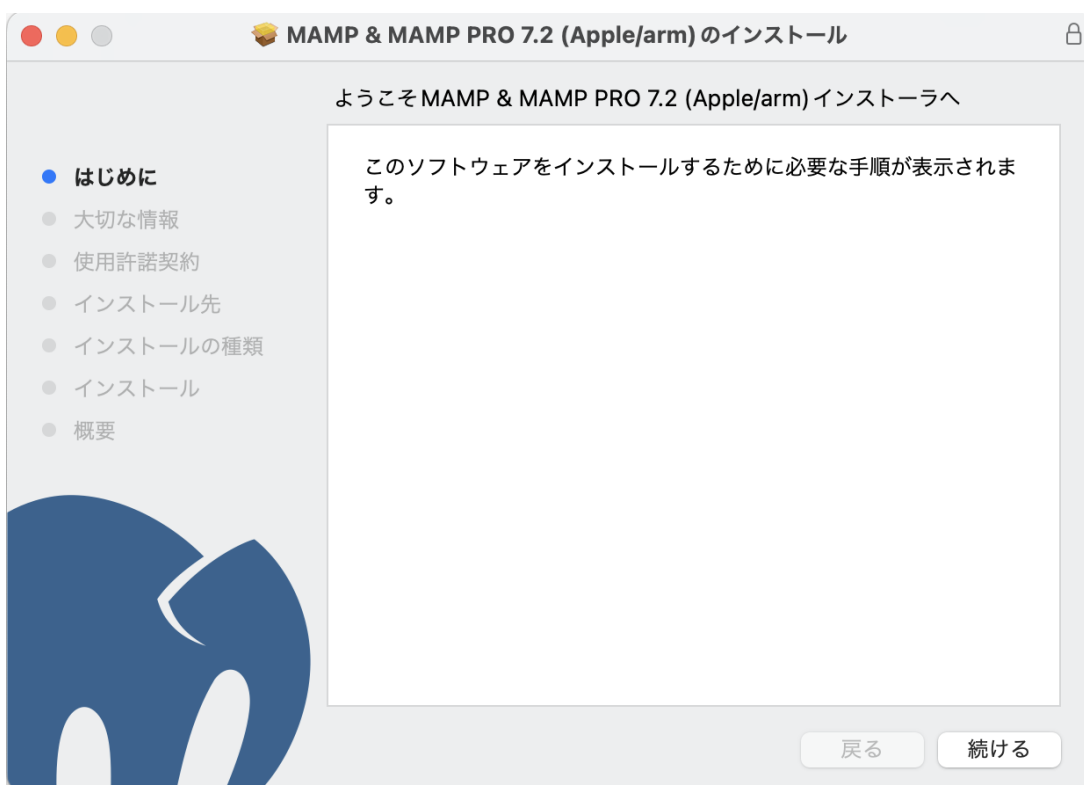
MAMP をダウンロードします。MAMP は PHP、Apache、MySQL などのソフトウェアをインストールして管理するためのツールを提供してくれるソフトです。Pro 版は有料ですが、今回は Pro 版で利用するような機能は使わないため、無料の機能のみ利用します。mac 版の場合、どちらもインストールされますが、Pro 版は利用しません。

<https://www.mamp.info/en/mac/>



「Download」ボタンをクリックして、ダウンロードします。

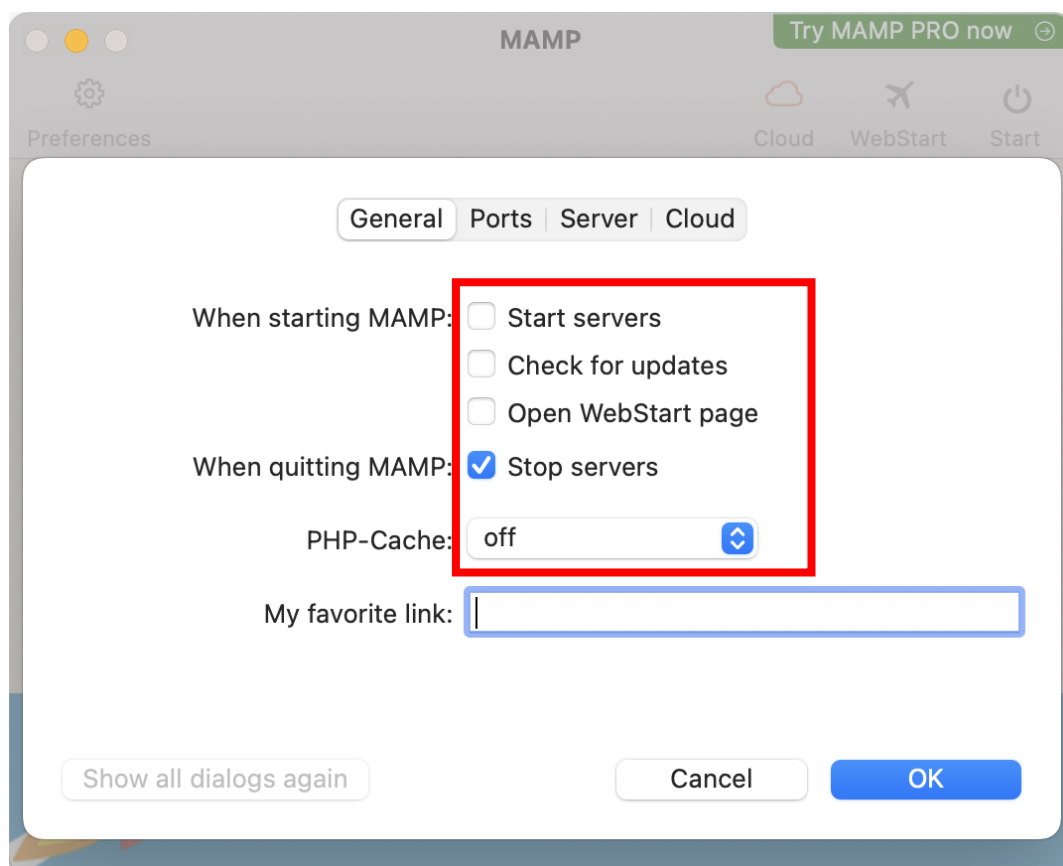
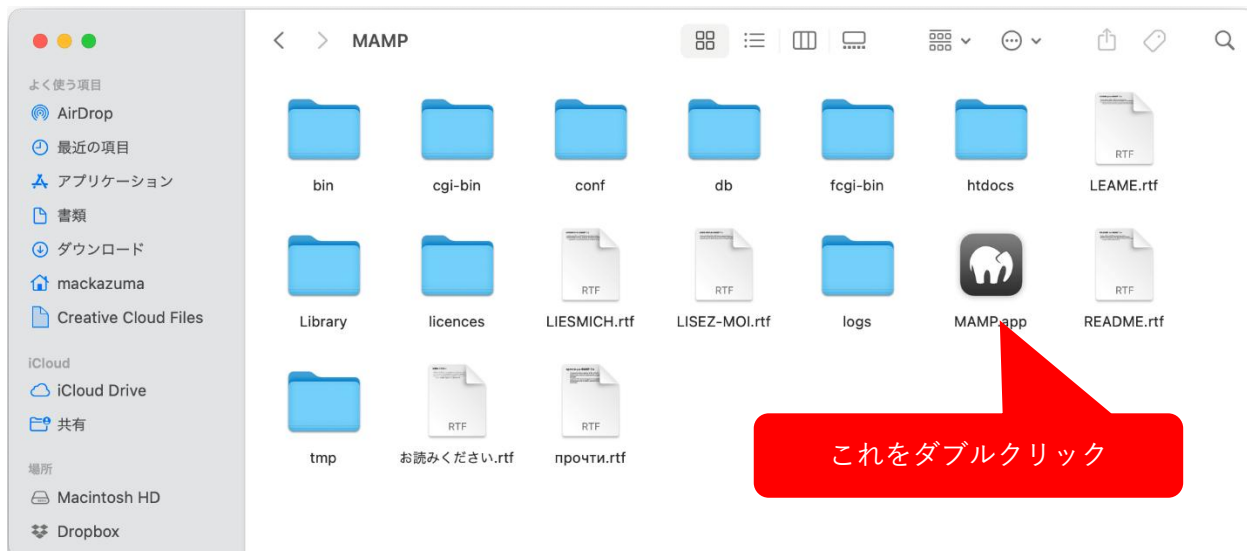
Download ツールみたいなものが先にダウンロードされます。環境に合わせて MAMP をインストールするためのツールです。「Download」ボタンを押すと、環境にあった MAMP がダウンロードされます。



ダウンロードしたパッケージファイルをダブルクリックして、インストールします。基本的にそのままインストールすればインストールは完了します。

## 2-3.MAMP の設定 (mac)

「Finder」→「アプリケーション」と辿ると「MAMP」と「MAMP Pro」がインストールされています。使うのは「MAMP」なので、こちらをダブルクリックします。中にある「MAMP」をダブルクリックして起動します。



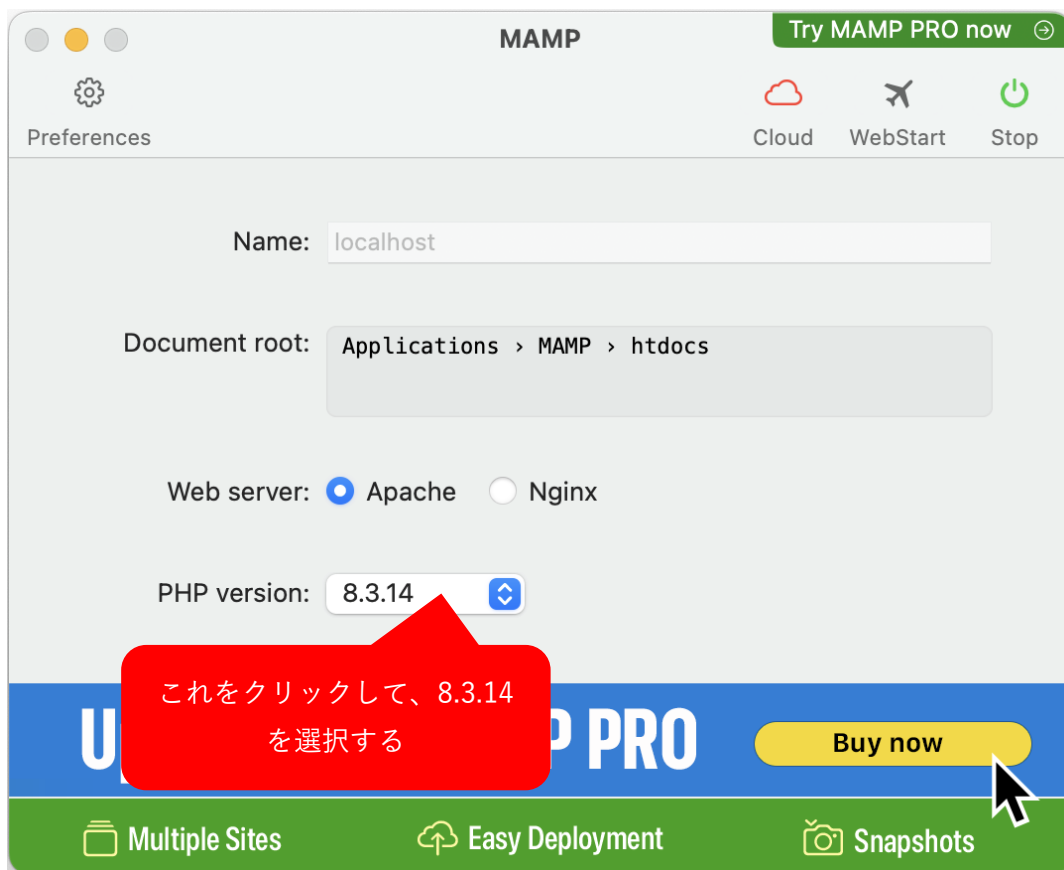
左上にある「Preference」をクリックして、設定画面を表示します。「General」では、「Start Servers」

にチェックが入っていないこと、「Stop Servers」にチェックが入っていること、「PHP-Cache」が off になっていることを確認します。

「Ports」を開き、「80&3306」ボタンをクリックします。すると、Apache Port などが 80 に変化します。



「PHP Version」を変更します。特に変更は不要ですが、もし違っているようであればプルダウンで「8.3.14」を選択します。



あとは右上の「Start」ボタンをクリックしてボタンが緑色になり、「Stop」へと変化すれば完了です。「Stop」ボタンを押して、停止させておいてください。また、MAMP も終了させておいてください。万が一「Start」ボタンが緑色にならない場合は、Application/MAMP/logs 内にあるログを確認してみてください。他のアプリなどとバッティングしている可能性があります。

